

第2回 本庄高校 学校運営協議会

期日：令和元年11月25日

時間：13:30～15:00 進行（教頭）

場所：本庄高校 校長室

【出欠】

委員：中山（○） 桑畑（欠） 餘利野（○） 岩切（欠） 服部（○）
大南（欠） 三根（欠） 谷口（○） 那須（欠）
学校：校長（○） 教頭（○） 事務長（○） 原田（○） 内田（○）

1 開会のことば（教頭）

2 中山会長あいさつ

前回から半年が経過、その間、国富町の若手経営者8名が、本庄高校生に地元企業を知ってもらうために就職説明会を実施したが、若手は今後も継続してやっていきたいと意気込んでいる。国富町でも10月の広報誌に本庄高校を取り上げ、制服の変更であったり、総合学科とは何かを詳しく説明したりしている。また、学校のパンフレットについても国富町から50万円の補助金を出させてもらっている。この他、1市2町で「本庄高校魅力化推進協議会」を立ち上げているが、10月には管内及び市内の中学校を、1市2町の首長が訪問している。

また、先週月曜日には町内26社誘致企業があるが16社に対して本庄高校の売り込みをしたところである。

昨今の本庄高校の部活動は目覚ましい実績を挙げている。

本日は第2回目ということで、これまでの取り組みに加え「ICT街づくりLABO」、デュアルシステム等についての説明をいただく。皆さまからの忌憚のない御意見を賜りたい。

3 富高校長あいさつ

本日の前半は説明が多くなるが、変わりつつある本庄高校を是非知っていただきたい。前回から大きく変わった点は2点ある。まず1つ目は募集定員が1クラス減になることである。これまで13年間定員割れが続き、この5年間は40名以上の欠員となっている。このようなこともあり魅力化推進協議会が立ち上げられた経緯もある。今後、教職員数も減るが、教育活動に努力して欲しいという意見等があれば、協議会の意見として県教委に挙げていきたい。

もう1点は、国富町からの多大な御支援を受けて学校パンフレットが完成した。後ろから2ページ目には現在の部活動生の勢いを示すような写真も掲載されている。

皆さまからの意見が貴重なものとなるため、たくさんの御意見を賜りたい。

4 学校からの説明

(1) 今年度のこれまでの取り組み

・・・別冊P1

教頭 p1説明

中山 10月7日の芸術鑑賞「龍馬からの手紙」はどのようなものだったのか。

原田 龍馬が活躍した時代にタイムスリップし、当時の考えと現代人の思いを語り合うようなものであった。時代が、現代や当時に様変わりし難しい内容ではあったが、プロの演劇を鑑賞できた。

(2) 「ICT街づくり LABO」について . . . 別冊 P 2～9

原田 p 2の趣旨説明 . . . 校内の教室に ICT を活用した街づくりの拠点として LABO を整備し、地域の住民や企業、商工団体等の方に活用していただいたり、学校の教育活動での活用を推進したりしていく。

地方においても都市部と同じような空間を創設するというので、高速通信環境の整備や遠隔地間の連携学習、地域課題解決の共有化を図る目的のもと、地域活性化強化を推進していく。

p 3のポンチ絵の中央「ICT街づくり LABO」は CS 指定校 5 校の中でも本校だけに 531 万円の予算が令達され実施する事業である。

遠隔学習では、デュアルシステムの研修、他県高校や大学等との遠隔講義、部活動においては、例えば東京での一流の指導者などから、遠隔機器を用いながらコーチング等について指導していただくことを想定している。また、留学生もいるため、留学生の出身国との交流も考えている。

LABO は、今後開札・入札を行い、今年度中に整備できる予定である。

中山 p 7 利用規約 生徒だけの利用は認めないのか。

原田 精密機器等があるので、生徒だけでは認められない。

校長 授業の時には教科担が、部活動の時には部顧問が着くことを前提としている。

中山 利用時間については記載の通りか。

原田 土日の利用も今後地域住民から要望があると思うが、今後の検討課題である。

(3) 事業計画の進捗状況 . . . 別冊 P 10

p 10 12月までの執行額の予定

教頭 現在の執行額は 23 万 2 千円で、126 万 7 千円の残がある。12 月までの執行予定額は 30 万円ほどになる。特に視察関係が 2 学期終わりから 3 学期にかけてになる。

(4) 令和 2 年度教育課程について . . . 別冊 P 11

内田 令和 2 年度の入学生から系列の名称変更を行い、1 年次から 1 単位の専門科目を履修する部分が従来との変更点である。

餘利野 2 学期制になるが、前期はいつまでか。

内田 前期を 9 月までとしている。

餘利野 「産業社会と人間」が前期で終われば、その段階で系列を決定しなければならないということか。

内田 そのとおりである。

(5) デュアルシステム導入における進捗状況 . . . 別冊 P 12～13

内田 資料に掲載してある事業所名は、考えられる受入先ということで掲載しており、現段階では先方とはアポイントはとっていない。

受入先については、まだまだ不十分だと思われるため、今後関係団体等に受入のお願いにあがる予定である。

先般は、宮崎大学の桑畑先生にデュアルシステムに係る部分の御助言をいただいた。特に、アカデミックフロンティア (AF) 系列の受入先について、どのようなところがのぞましいのか伺ったところ、「AF 系列だからといって特別なところを見つ

ける必要はないという御助言をいただいた。例えば、普段社員がやるには日常の業務に支障をきたすような部分を、デュアルシステムで課題解決につなげていく」イメージでいいのではないか。また、工業系の企業においては、製造ラインではなくても人事広報の分野を担当させていただいたりしている」といったお話など、大変参考になった。

また、実習中の事故あるいはトラブルがあった際の責任の所在をはっきりさせる上でも協定書の取り交わしがあった方が良くといった助言等もいただいた。

中山 受入先については、町の企画政策課にも相談いただきたい。

内田 デュアルシステムの実施については、令和2年度入学生が2年生になる令和3年度からの実施になる。

(6) その他の活動 (ボランティア関係) . . . 別冊 P 14

教頭 これまで22の事業にのべ372名が参加しており、管内で行われている事業には、ほぼ本校生徒が携わり、生徒達にとっても貴重な経験になっている。

地域からの信頼を得る上でもこのボランティア活動は今後とも継続していく。

中山 町の行事は本庄高校生で成り立っている。また、当日だけではなく、町民祭においては、企画の段階から入ってもらっている。今後についてもそのような方向で町づくりに参画していただきたい。

来年度は全国国民文化祭が本県で開催され、県と26市町村で分担し、国富町では3つのイベントを実施する。「本庄古墳の遺跡巡り」では若い人材のガイドを募集する。(11/22実施)

「アートプロジェクト(書道、陶芸、うずら車)」の書道部門においては本校出身で、海外でも活躍中の今井美恵子様を中心に計画中である。

教頭 来年度の町民祭は決定しているのか。

中山 今年度と同時期である。(来年度の本校いちいがし祭は、10月第4土日)

5 協議内容

(1) 学校評価について . . . 別冊 P 15 ~ 16

教頭 p 15は昨年度の項目を掲載している。

今後、今年度の項目を入れて、「方策・手立て」「改善策等」「自己評価」をし、委員の方に1月下旬に送付させていただく。その後、第3回の学校運営協議会で結果を提示する予定である。

校長 バックデータを揃えて、すっきりした形でお示ししたい。

6 本年度の協議会活動日程について

(1) 年間3回実施予定

第1回 5月30日(木) 実施済み

第2回 11月25日(月) 本日

第3回 2月17日(月) or 19日(水) or 20日(木)

教頭 3回目を上記のいずれかで実施したい。これについては、後日、日程確認の調査を実施したい。

(2) その他(最後に一言)

餘利野 前回1回目は出席できなかった。来年度からの学校の変革が楽しみである。

服部 実績がものをいう。「社会に開かれた教育課程」ということで、町内の小中学校も連携をとっていきたい。

谷口 文化祭にも参加させていただき、子どもたちが生き生きとして、これから先が楽しみだと感じた。デュアルシステム受入先についても御連絡をいただきたい。

中山 「ICT街づくりLABO」は、やり方によってはすごいことができる。くにまち工房の有田匠興さんがいい仕事をしているので、是非、彼を利用していただきたい。

校長 今年1年目ということで、走りながらお示しをしているところもあり、このような機会にお話を聞かせていただくことはありがたい。引き続き御支援を賜りたい。

7 諸連絡

(1) 口座振替用紙の提出について

教頭 口座振替用紙を該当の委員の方にはお配りしている。返信用封筒を同封しているので必要事項を記入の上、返信いただきたい。

(2) その他

教頭 12月6日(金)に本校にて「総合学科実践研究発表会」を開催する。都合がつけば是非とも御出席いただきたい。

中山 当日は議会中で出席できない。

8 閉会のことば